

第 30 回全国私立大学教育研究集会 開催要項

2019年7月16日

日本私大教連
(日本私立大学教職員組合連合)

私立大学・短大は学生数で全体の8割近くを占め、多様な若者の成長・発達を支え、次代を担う市民、職業人を育て、社会の発展に大きく貢献しています。しかし私立大学の状況は年を追って厳しさを増しています。定員未充足大学の増加、採算状態の悪化、賃金や教育・研究・労働条件の切り下げ、募集停止・閉校など、とくに地方・中小規模大学を中心として将来の不透明感や不安感が強まっています。また私立大学生の学費負担は、家計の限界に達する水準に至っており、貧困な奨学金制度のもと、多くの学生が学費や生活費を得るために多くの時間を費やさざるを得ず、充実した大学生活を送ることを困難にしています。

私立大学と私立大学生に困難をもたらしている根本的な要因は、政府が長期にわたり私立大学と私立大学生への公財政支出を極めて低水準に抑制し、費用負担を家計に押し付けながら、大学を「経済競争力強化」に最小限のコストで最大限動員するための競争的な「改革」政策を推し進めてきたことにあります。そして安倍政権下においては、この政策方針が抜本的に強化されるとともに、大学に対して迅速な「改革」を強要する諸施策が「官邸主導」で着々と実行に移されています。学長権限強化のための学校教育法の改悪、専門職大学・学科制度の創設、大学を地域産業振興の核と位置付ける地方創生戦略、私大助成への「教育の質・成果」に基づく配分基準の導入、この5月に成立した「大学等修学支援法」など、さまざまな施策群が矢継ぎ早に繰り出されてきました。これらの政策は、私立大学に対しては選別と撤退促進のスキームと一体的に推進されています。

今回の私大教研集会ではこうした政策動向を教育研究の現場の視点から分析し、これからの組合活動のビジョンを語り合う場としたいと考えています。記念講演では、稚内北星学園大学の斉藤吉広学長をお招きし、最北端の厳しい環境の中で奮闘してきた軌跡から、私立大学の危機の実相と私たちのこれからの活動を考え合いたいと思います。またセッションでは、各加盟組合の要望を踏まえ、改正私立学校法のポイントと学校法人のあり方を考えるセッション、大学政策と私たちの対案を多角的に検討するセッション、働き方改革関連法案への対応を交流するセッション、職員の働き方と職場の質の改善の取り組みを興隆するセッション、民主的な教学運営のあり方を考えるセッションなど、これからの「私立大学のありかた」を考え、また私たちが直面している課題にどう取り組んでいくかを学び交流し合える企画を準備しています。そして今回の私大教研の全体交流会は、日本私大教連結成30周年記念レセプションとして歴代役員の方々にもご参加いただき催す予定です。多くの組合員のみなさんのご参加を心より呼びかけます。

I 開催日・会場等……………2	V 会期中の昼食／団体保険について……4
II 参加費……………2	VI セッション紹介……………4
III 参加申込・参加費等の納入方法……2	VII レポート提出について……………6
IV 宿泊について……………3	VIII 会場へのアクセス……………8

I 開催日・会場等

1. 名 称……………第30回全国私立大学教育研究集会（略称：全国私大教研）
2. 開催日……………2019年8月31日(土)14:00開会～9月2日(月)12:30閉会
3. 会 場……………岐阜商工会議所（岐阜市神田町2-2。最寄駅：JR・名鉄岐阜駅）
8月31日：2階大ホール 9月1・2日：4階・5階各会議室
4. 主 催……………日本私大教連（日本私立大学教職員組合連合）
TEL 03-5285-7243 FAX 03-3208-0430 E-mail info@jpu.org
5. 日 程

8月31日(土)	13:00 受付開始 13:30開場
	14:00～17:30 全体集会 【2階大ホール】 ◇基調報告 ◇記念講演 最北端のちいさな私立大学の挑戦 ＜講師＞ 齊藤吉広・稚内北星学園大学学長・理事長 対談 「私大の危機」を乗り越える運動の構築を目指して
	17:45～19:45 全体交流会・結成30周年記念レセプション【1階オリビエ】
9月1日(日)	9:00～12:00 セッション 【4・5階各会議室】 *当日受付=4C会議室
	13:00～17:00 セッション
9月2日(月)	9:00～12:00 セッション 【4・5階各会議室】

(注) 各セッションの会場は現地配布の「集会プログラム」にてご案内します。

II 参加費

1. 参加費：1人6,000円。
2. 未加盟組合から参加される場合は、参加費とは別に集会分担金を拠出いただいています。
分担金の額は「参加者が所属する組合の組合員実数×2000円」です。
3. 全体交流会・結成30周年記念レセプション：1人6,000円（立食・フリードリンク、税込）。
4. 9月1日（日）セッション終了後に行われる「職員交流会」は会費4,000円を予定しています。会費は現地でお納めください。
5. 集会期間中の交通費、食事代等は各自のご負担となります。

III 参加申込、参加費等の納入の方法

A 全国私大教研の参加申し込み方法

1. 申し込みは、別紙の「参加申込書」「参加組合の概要」によって受け付けます。
2. 必要事項を漏れなく記入し、申し込み締切日までに東京私大教連にFAXなどでお申し込み下さい。

B 参加申し込みの締切・・・8月21日（水）必着

C 参加費、未加盟組合分担金、全体交流会会費のお支払方法

1. 各組合は申込書類の提出とあわせて上記費用を東京私大教連へ事前にお支払ください。

※職員交流会の会費は、現地でお納めください。

振込先＝振込先＝中央労働金庫池袋支店 普通3711375

または、

三井住友銀行高田馬場支店 普通3043858

口座名義は、東京地区私立大学教職員組合連合

※宿泊費については別扱いとなりますのでご注意ください（下記参照）。

IV 宿泊について

岐阜駅周辺のホテルが混雑しています。早めのご予約をお願いします。

日本私大教連書記局では、名鉄観光サービス株式会社を通じて下記ホテルを確保しています。ご利用の際には下記「申込方法」に従ってお手続きください。

ホテル名	室数	8/31	9/1	立地等
ホテルルートイン一宮	30/20	8,050 円	6,900 円	岐阜駅から東海道本線で約 10 分。 尾張一宮駅から徒歩 3 分。
コンフォートホテル岐阜	30/0	13,700 円	8,800 円	JR 岐阜駅北口から徒歩 2 分。
ダイワロイネットホテル岐阜	3/17	14,900 円	7,560 円	JR 岐阜駅長良口から徒歩 7 分。

*部屋はすべてシングルルームです。「室数」の表示は禁煙/喫煙ルームの数を表します。

コンフォートホテルは全室禁煙となっています。

*料金はすべてシングルルーム 1 泊朝食付き（税・サービス料込み）の値段です。

○申込方法

別紙「宿泊予約申込書」に必要事項を記入の上、名鉄観光に F A X で送付してください。

*送信先 F A X 番号 03-3348-2934

○申込期間

ダイワロイネットは7月31日（水）まで、その他2ホテルは8月8日（木）までにお申し込み下さい。

成約は各ホテルとも先着順となります。

○予約確認と宿泊料金のお支払い

お申し込み後、代表者の方に名鉄観光より「予約確認書」が送付されますので、その内容にしたがって宿泊料金をお支払いください。

○キャンセル料

「予約確認書」の記載をご確認ください。キャンセル料が発生した場合は実費をお支払いください。

V 会期中の昼食等および団体旅行保険

A 飲料について

岐阜商工会議所館内には飲料の自動販売機はありません。近隣の自販機・コンビニでご購入下さい。

B 9月1日（集会二日目）の昼食について

会場近隣に飲食店が多数あります。集会当日にランチマップを配布しますのでご参照ください。

C 団体旅行総合保険について

1. 日本私大教連は全国私大教研に団体旅行総合保険（死亡・後遺障害 600 万円外）を掛けています。
2. 保険の申し込みには、氏名・性別・年齢が必要ですので、保険加入をご希望の方は参加申込書に記入漏れのないようご注意ください。
3. 保険期間は8月31日の開会集会開始時から9月2日のセッション終了時までです。
この間に事故が生じた場合は、速やかに集会事務局および日本旅行にご連絡ください。
(→ 集会事務局緊急連絡先 090-1118-0394 (三宅))

VI セッションのご紹介

[日程]

	午前9:00~12:00 (3h)	午後13:00~17:00 (4h)
9・1 (日)	1. 働き方改革関連法への対応	4. 大学職員の働き方改革(職員セッション)
	2. 地方私立大学の再編・撤退促進政策と私たちの対案	5. 不当解雇・権利侵害・不当労働行為とのたたかい
	3. 大学等修学支援法とこれからの私大助成運動を考える	6. 改正私立学校法と各大学での今後の取り組み
9・2 (月)	7. 安倍政権の「大学改革」政策と私たちの対案	
	8. 教学組織と学校法人理事会の諸問題	
	9. 平和と民主主義をめぐる諸課題と取り組み	

1. 働き方改革関連法への対応 レポート募集

「働き方改革関連法」の問題と活用ポイント、それが私立大学教職員に及ぼす影響について学習するとともに、いくつかの大学で起きている教員の労働時間把握の問題や、時間外労働の管理、有休取得の義務化などへの対応状況について交流します。

- ◆学習：「働き方改革関連法と大学教職員（仮）」 講師：和田肇・名古屋大学名誉教授
- ◆レポート：働き方改革関連法を理由とした理事会提案の内容、組合の対応 など

2. 地方私立大学の再編・撤退促進政策と私たちの対案

安倍政権は地域の産業振興の核として大学を位置付ける「地方創生」政策、地方大学の連携・統合政策を推進すると同時に、定員割れ私大・経営悪化私大に対する補助金減額措置を強化し、「大学等

修学支援法」の支援対象から除外するなど、撤退促進策を押し進めています。本セッションでは記念講演講師の斉藤吉広学長を交え、地方私大が果たしている役割、地方私大が抱える困難などの実情を共有し、今後の組合活動のビジョンを考えます。

3. 大学等修学支援法とこれからの私大助成運動を考える

レポート募集

①2020年度から施行される「大学等修学支援法」の問題性、②国際人権規約が要請する「高等教育の漸進的無償化」の理念と具体的内容、③国会請願署名、請願行動の意義と役割、④各地区の家計負担調査結果と運動の課題、の4つの報告と、各単組からのレポート（話題提供）を元に、これからの運動の方向性やあり方について考えます。

◆学習：日本私大教連、各地区私大教連などからの報告

◆レポート：各地区・各単組の私大助成運動の取り組みの状況、課題・悩み・提案 など

4. 大学職員の働き方改革(職員セッション)

レポート募集

今年の職員セッションは、働き改革について集中的に取り上げます。各大学からの事例報告やアンケート調査報告を中心に、働きやすい職場づくりを考えます。セッション終了後には会場すぐ隣の「柳ヶ瀬ビアガーデン」にて好例の職員交流会を開催します。

※本セッション参加希望者は、第1セッション（働き改革関連法への対応）とのセット参加をおすすめします。

◆事前アンケート集計結果の報告（日本私大教連）

◆レポート：36協定等の「働き方改革関連法」対応をめぐる事例、残業削減など広い意味での働き方の改善の取り組み事例 など

5. 不当解雇・権利侵害・不当労働行為とのたたかい

全国の権利闘争の状況、争点等に関する日本私大教連からの報告と、裁判・労働委員会を活用してたたかう単組からの報告を元に、権利闘争の意義と課題を学びます。

6. 改正私立学校法と各大学での今後の取り組み

レポート募集

2019改正私立学校法と施行通知や関係省令のポイントと、各大学での今後の課題を学ぶとともに、理事会による不祥事の原因となっている学園私物化や、理事会の専断的大学運営がどのように行われているか、それに対する組合の取り組みなどを交流し、今後の組合活動の方向について考えます。

◆学習：「改正私立学校法のポイントと今後の課題」（日本私大教連）

◆レポート：理事会による不正・不祥事、専断的大学運営に対するたたかい

情報公開の推進など学校法人の公共性・透明性を高めるための取り組み

7. 安倍政権の「大学改革」政策と私たちの対案

この間、安倍政権が打ち出してきた「大学改革」諸政策はほぼ法令改正が完了し、施策群の「着実な実行」とさらなる強化の段階に進んでいます。これらの「大学改革」政策をあらためて俯瞰するとともに、現下の政策展開が現場にどのような影響を及ぼすか、基調報告と全大教（国公立大学教職員組合の全国組織）からの報告も踏まえて検討し、今後の組合活動のビジョンを考えます。

8. 教学組織と学校法人(理事会等)の諸問題

レポート募集

学長の「リーダーシップ」が執拗に強調され、2014年の学校教育法改悪を大きな転機として、教学運営の変質が広がっています。さらに政府は、私大助成の一般補助に「教育の質」による評価配分を導入し、また「大学等修学支援法」により実務家教員の配置や厳格な成績管理を義務付け、学部横断の学位プログラム制度の導入など、大学教育への介入を強めています。こうした中で、理事会による教学への専断的介入、学長の暴走といった事態も生じています。さらに文科省は、教育課程編成の高度化や成績評価基準の適切な運用、学修成果の把握・可視化など、「教学マネジメントの確立」を進めています。現場で生じている実態を持ち寄り、今後の取り組みを考えます。

- ◆レポート：学校教育法改悪を契機とした教授会権限の剥奪、学長・学部長選挙の廃止などの実態、組合の取り組み
カリキュラム編成や成績評価・管理、教員評価など「教学改革」の実態 など

9. 平和と民主主義をめぐる諸課題と取り組み

レポート募集

安倍自民党総裁は参院選で憲法改正を争点にすることを明言しました。本稿執筆段階では選挙結果は出ていませんが、結果次第で憲法改正の動きが一気に加速しかねない情勢です。本セッションでは、改憲問題を一つの柱に据えつつ、広い意味での平和と民主主義をめぐる多様な課題—組合・団体・個人にかかわらず、直面しているさまざま課題や問題意識、関心事を持ち寄って交流します。

- ◆レポート：憲法9条改正、米軍基地問題、性的多様性、ジェンダー・男女平等、人種差別・偏見、パワハラ・セクハラ、主権者教育、軍学共同研究、大学と自衛隊の連携・協力など、平和・民主主義・人権にかかわる多様な問題や取り組み

■ ポスターセッションへの出展のお願い ■

組合・個人・グループ、職種を問わず、教育研究の向上を図る取り組み、教職員の権利を守る取り組み、社会の諸課題の解決に向けた取り組みなど、どのような分野でも、「教育研究集会にふさわしい！」と思うテーマであれば出展可です。出展数上限は10点です(先着順)。展示用パネル(サイズ1500×980;A0サイズまで貼り出し可能)と机・イスを提供します。署名活動や書籍販売、パンフレット等の配布も可とします。

◇開催時間 9月1日(日)9時半～17時 (コアタイム目安 12:00～13:00、15:15～15:45)

◇応募方法 * 申込期間: 8月1日(木)から8月21日(水)まで

* 申込方法: 日本私大教連にEメール(info@jfpu.org)でお申込みください。メールの件名を『教研ポスターセッション』とし、本文に①出展者氏名・所属、②出展タイトルと出展内容の概要(300字以内)を明記してください。

VII セッションへのレポート提出について

A レポートのお願い

1. 全国私大教研のセッションの成功は、組合員のみなさんから多様・多彩なレポートが提出されるかどうかにかかっています。
2. 「セッション紹介」をご覧ください、積極的にレポートの準備をされるようお願いいたします。
3. レポートは次項「レポートの形式」に従って作成してください。

4. レポートは会場で全参加者に配布する「集会プログラム」に掲載しますので、**下記の提出期限**をお守りください。提出期限を過ぎた場合は当該セッションのみでの配布となります。

B レポートの形式（8頁参照）

1. レポートの内容と資料の扱い

- (1) レポートはレジュメ形式や箇条書きでも構いません。ただし、簡略すぎて内容が判らないということがないようにしてください。
- (2) 資料が必要な場合は、レポートとは別に用意し、当日セッション会場で配布してください。必要部数はセッションにより異なりますので、日本私大教連書記局にお問い合わせください。
- (3) 「資料」の現地への送付については**下記E**をご参照ください。

2. 体裁

- (1) A4タテ・横書き・である調
- (2) 2頁以内に収めてください。超過した場合は日本私大教連書記局で編集する場合があります。
- (3) 文字サイズ、1行の文字数、1頁の行数は、2頁以内に収まるよう自由に設定してください。
- (4) ページの余白は上下左右とも20mmに設定してください。
- (5) 作成の際は、次頁の「レポートのフォーム」をご参照ください。

C レポート原稿の提出について

1. 提出期限……**8月19日(月) 必着**

- (1) レポートを集会参加者全員に配布できるよう、できるかぎり提出期限までにご準備ください。
- (2) セッション報告はパワーポイントを使用することができますが、集会プログラムに縮小掲載することを考慮し見にくくならないように工夫してください（集会プログラムはモノクロ印刷です）。もしくは、Wordファイルで報告概要をご提出ください。

※パワーポイントの使用を希望する場合はレポート提出時に必ずお申し出ください。

2. 提出方法

日本私大教連へEメール (info@jfpsu.org) 添付で送付してください。Wordファイル（もしくはWord形式で保存したもの）またはパワーポイントファイルにてご提出ください。

D レポートを直接セッションに持ち込む場合について

1. レポートの形式……**上記B**「レポートの形式」と同じ。
2. レポートの部数……セッション参加者分（当該セッションのみ配布、部数はお問い合わせください）。
3. 書記局への提出……レポートは必ず8月29日（木）までに日本私大教連書記局に送付してください。
4. レポートを現地に事前送付する場合は、**次項E**に従って送付してください。

E 資料等の現地送付について

レポート、資料を現地に送付する場合は次のようお願いします。

1. 配送日……必ず8月30日(金) 午前中の到着指定で送付してください。
2. 送付先……〒500-8727 岐阜市神田町2-2 岐阜商工会議所気付 全国私大教研

※ 梱包の目立つ箇所に「全国私大教研第〇セッション資料在中」と必ず明記してください。

■ レポートのフォーム（A4タテ・横書き） ■

余白2cm		（↓セッション名は不要）
第30回全国私大教研レポート		第〇セッション
レポートのタイトル		
		組合名 氏 名
(本文)		
余白 2cm	1. 用紙・文体・分量	余白 2cm
	* A4タテ・横書き・である調	
	* 分量はA4＝2枚まで。超えた場合は原則として編集させていただきます。	
	2. 活字の大きさ・1行の字数・1頁の行数の目安	
* 本文の活字……10ポイント(タイトル・見出し＝任意)		
* 1行の字数……45字(字間のアキを極力ゼロに設定する)		
* 1頁の行数……45行		
（※字数・行数は目安です。上記分量内であれば自由に設定してけっこうです）		
3. レポートの内容・資料の扱い		
* レポートは箇条書きでも構いませんが、簡略にしすぎて内容が判らないということがないようにご注意ください。		
* 資料が必要な場合は、レポートとは別にセッションで配布してください。		
* 資料を現地に事前送付する場合は上記をご参照下さい。		
4. レポートを直接セッションに持ち込む場合		
* 6頁-Dの指示に従って必要部数作成してください。		
* 配布は参加者全員でなく当該セッション参加者のみとなります。		
（*ページ番号不要）		

VIII 会場へのアクセス

○JR岐阜駅までのアクセス（名鉄岐阜駅をご利用の方は各自でお調べください。）

- * 名古屋駅から…東海道本線快速電車で約17分、普通電車で約26分。
- * 中部国際空港駅から…名鉄直通、名古屋または金山乗り換えで70分前後。
- * 名古屋空港から…名鉄高速連絡バスで名古屋駅まで約30分。

○JR岐阜駅・名鉄岐阜駅から岐阜商工会議所までのアクセス

- * 徒歩の場合…JR岐阜駅から約20分、名鉄岐阜駅から約15分。
- * バスの場合…JR岐阜駅(乗り場12・13)から約8分、名鉄岐阜駅(乗り場4)から約6分。
 - バス停「岐阜市役所南庁舎前」下車すぐ(はず向かい)。
 - ※「岐阜バス」の路線系統番号に“N”がついているバスはすべて利用可(N32、N86など)。

◎会場周辺案内図



(岐阜商工会議所HPから転載)



JR岐阜駅から見た長良橋通り。右手が名鉄岐阜駅。両脇の歩道にはアーケードが整備されています。画面奥(北)方向に直進すると岐阜商工会議所があります。